

ガラテヤの信徒への手紙：学びの手引き

異邦人信徒が神の民に完全に属するには、割礼を受ける必要がありますか。

ガラテヤの信徒への手紙は、異邦人信徒が完全に属する条件として割礼と律法が必要かという危機に答えます。パウロは、神の約束はその境界を受け入れて確保するのではなく、キリストと信仰を通して受け取ると主張します。自由は霊による愛の奉仕になります。手紙の緊急性は福音の真理と共通の食卓に関わり、ユダヤ人の信仰への敵意を許可するものではありません。

背景の中で手紙を読む

パウロの著作であることは広く認められています。宛先と年代は議論があり、南ガラテヤ説と北ガラテヤ説では、使徒言行録やエルサレム訪問との結び付け方が異なります。パウロの自伝的記述は中心的証拠ですが、各訪問を使徒言行録に対応させるには論証が必要です。論争はパウロの応答を通して聞こえます。彼が退ける各表現から、反対者の教え全体をそのまま再構成することはできません。

聖書の参照箇所: ガラテヤの信徒への手紙 1章1節 – ガラテヤの信徒への手紙 2章14節

出典: primary, brown

論の流れをたどる

1～2章はパウロの使命を擁護し、食卓の交わりの破綻を明らかにします。3～4章はアブラハム、約束、律法、神に子として迎えられることから論じます。5～6章は、霊に導かれ、重荷を担い合い、善を行う生活として自由を説明します。義認の諸側面や律法の継続的な役割には議論があります。この学びは、ユダヤ人の反対者を戯画化せず、恵み、キリストへの信仰、行動する愛を共に保ちます。

聖書の参照箇所: ガラテヤの信徒への手紙 3章1節 – ガラテヤの信徒への手紙 4章31節・ガラテヤの信徒への手紙 5章1節 – ガラテヤの信徒への手紙 6章18節

出典: primary

福音とパウロの召し

ガラテヤの信徒への手紙 1章1～24節

際立って切迫した冒頭は、パウロのかつての迫害と、自身が語る神の召しへ進みます。啓示に訴えることは、あらゆる学びや共同体への説明責任を退けることではありません。エルサレム、アラビア、初期の接触について述べたことを、完全な旅程を創作せずたどりましょう。

考えてみよう

パウロが宣べ伝える知らせの変更に抵抗する理由を、その生涯のどの要素が説明していますか。

共有する福音と分断された食卓

ガラテヤの信徒への手紙 2章1～21節

パウロは異邦人宣教への承認と、アンティオキアでケファと対立したことを振り返ります。共に食
べることから退く行為は、誰が本当に属するかについてのメッセージを発します。義認とキリストにある命
の説明は、宗教的感情の私的な議論だけでなく、この具体的な破綻に応答しています。

考えてみよう

共に食べることから退く行動は何を意味し、パウロはなぜ福音と結び付けたのですか。

アブラハムへの約束と律法

ガラテヤの信徒への手紙 3章1～29節

パウロは霊を受けた経験とアブラハムの物語に訴え、約束と律法を区別します。論証は民族、社会的
身分、性別の区別を超えた、キリストにある共通の帰属に至ります。特定の役割への意味はキリスト
者の間で異なりますが、救いへの道が不平等だという読みは支持できません。

考えてみよう

パウロによるアブラハムの用い方は、異邦人が属するために提示された条件にどう挑みますか。

後見のもとから子として迎えられる身分へ

ガラテヤの信徒への手紙 4章1〜31節

相続、養子、隷属の比喩がパウロの訴えを展開します。ハガルとサラの比較は、論証の中の明示的な比喩的解釈であり、現代の民族に序列を付ける根拠ではありません。個人的な訴えは、この神学論争が、彼が修復したいと願う傷ついた関係の中で起こっていることを思い起こさせます。

考えてみよう

家族の比喩は、キリストがもたらしたとパウロが信じる変化をどう説明しますか。

霊によって形づくられる自由

ガラテヤの信徒への手紙 5章1～26節

キリストにある自由は、割礼を義認に必須とすることによっても、自由を放縦に用いることによっても脅かされます。パウロは愛の奉仕と霊の実を、キリスト者の行動の中心に置きます。実が表すのは変えられた生き方であり、受け入れられるための手段ではありません。

考えてみよう

他者に仕えることは、自由を手放すのでなく、どう自由を表しますか。

重荷を担い、善を行い続ける

ガラテヤの信徒への手紙 6章1～18節

柔かな回復、重荷の分かち合い、個人の責任、教師への支援、忍耐が、論証を日常の実践へ導きます。結びで外面的なしるしの誇りと十字架を対比することは、論争を要約します。新しい創造への関心は、身体をもって行う配慮を無意味にしません。

考えてみよう

共同体は、ある人の重荷を担いながら、その人の責任ある行動をどう励ませますか。

出典

- [primary] Galatians; primary biblical text. Reading references only; no Bible text is reproduced in this resource. <https://ebible.org/eng-web/GAL.htm>
- [brown] Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997), chapter 19. Background and scholarly discussion; not an endorsement of every interpretation in this study.

独自に制作した本文と画像：CC BY 4.0。聖書本文と第三者の素材は対象外です。

Pauline Letters · CC BY 4.0 · <https://paulineletters.com/ja/explore/resources/study-galatians>